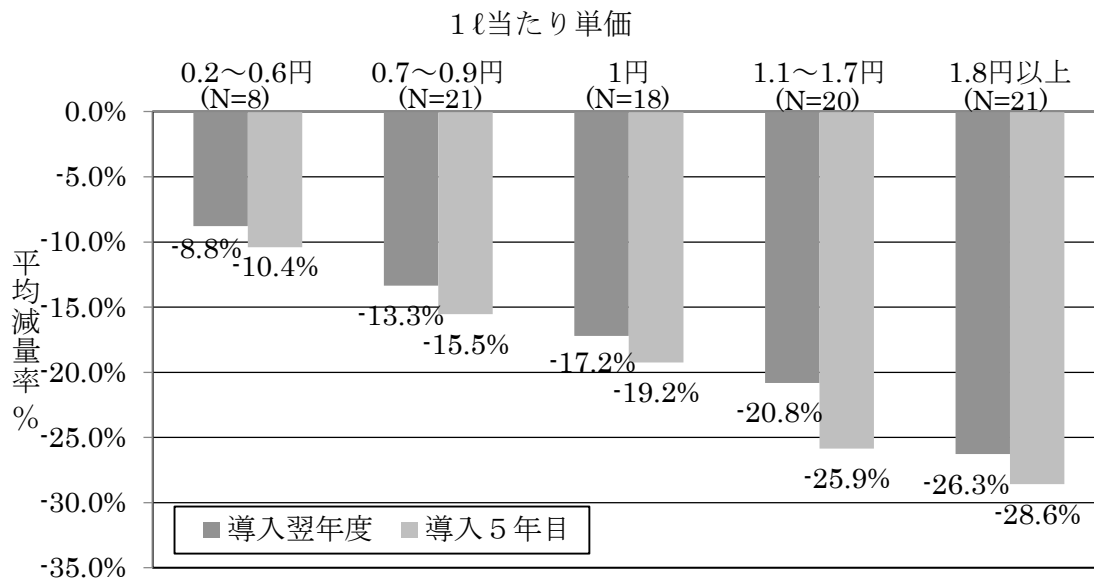


手数料水準と家庭系処分ごみ排出量の減量効果

(2005 年度以降有料化導入・単純従量制 88 市)



(注) 処分ごみは、資源物を含めない、可燃・不燃・粗大などのごみ。

減量効果棒グラフの見方

1. 処分ごみ=可燃ごみ+不燃ごみ+粗大ごみなど (資源物を除く)
2. 横軸のNは、当の1ℓあたり価格帯の価格を設定する市の数。
3. 価格帯別の2本の棒グラフは、濃い色の棒グラフが有料化翌年度における有料化前年度比でみたN市の平均減量率、薄い色の棒グラフが有料化5年目年度における有料化前年度比でみたN市の平均減量率を示す。

88市の1ℓあたり単価（円/ℓ）の分布

【0.2-0.6円】8市

0.2-0.3 3市

0.4 2市

0.5 0市

0.6 3市

【0.7-0.9円】21市

0.7 9市

0.8 5市

0.9 7市

【1.0円】18市

【1.1-1.7円】20市

1.1 8市

1.2 2市

1.3 5市

1.4 1市

1.5 2市

1.6 2市

1.7 0市

【1.8円以上】21市

1.8 0市

1.9 1市

2.0 19市

2.0超 1市